

「2R」啓発 イベント参加報告

整理番号: 20180520

| | |
|-------|------------------|
| イベント名 | 第42回 アクト通りふれあいデイ |
|-------|------------------|

| | |
|------|--|
| 実施内容 | |
| 活動日時 | 平成30年5月20日(日) 8:30~12:30 |
| 活動場所 | アクト通りロータリー南側 |
| 活動者名 | 村河、藤田、高根 |
| 詳細 | <p>①エコライフはままつ「移動もったいない市」開催></p> <p>②浜松市ごみ減量グッズ 無料配布 ・やらまいか 水切りプレス ・雑がみ回収袋: 雑がみ啓発グッズ「トイレトペーパーの苗ポット」配布</p> <p>③「スッキリ☆エコ自慢」冊子配布!</p> <p>④楽器のリユース事業</p> <p>⑤エコ・イベント:「リユース貸出食器の紹介」</p> |

| | |
|----------|--|
| 事業の様子と成果 | <p>ブースへの参加人数: 84名 移動もったいない市: リユース量 3.25kg 水切りプレス配布: 23個 / 雑がみ回収袋: 24袋 / そのまんまポイツ 10枚 楽器寄付: リコーダー 5本 寄付者 2名 スッキリエコ自慢冊子 12冊 / 2Rもったいない実践メモ帳 6冊 雑がみ啓発: トイレトペーパー芯 苗ポット 14個</p> <p>移動もったいない市は、大変好評でした。持参した子ども服やフォーマルウェアなどは全てリユースされました。若干サイズのあるスカートが残りました。昨年より多くの方にご利用いただけました。</p> <p>広報はままつ5月号記事の紹介から市民に生ごみの水切りと雑がみのリサイクルを啓発しました。広報を見ている方で、水切りプレスを希望される方に進呈。水切りプレスには抵抗がある方には、そのまんまポイツを配布。ぬらさないことと袋を閉じて上から押えて水を切る方法をお願いしました。プレスが不要な市民の声は、手でしぼっている。既にもらっている。生ごみや残渣物は全て畑に埋めている。若しくは、花壇に撒いているなどの意見がありました。</p> <p>近隣の小学5年生女子2名は、昨年「スッキリエコ自慢」冊子を手にしてから、ペットボトルは止めて水筒に急須でお茶を入れて持参するようになった。祖母が、残渣物などは天日干しをするようになった。</p> <p>などの報告がありました。</p> <p>近隣の大学生8名(2グループ)には、料理はしない。との言葉より雑がみの回収とリユース楽器への協力を依頼。</p> <p>日本語学校の先生は、日本語の勉強と合わせて正しいごみの出し方を説明したいとことで、スッキリエコ自慢冊子を提供しました。今後、生徒ひとり一人の読書本として利用できるかどうか検証していただきます。</p> <p>雑がみ啓発では、「トイレトペーパーの芯 苗ポット」の中にひまわりの種を植えて配布しました。13日に種を植えて約1週間で発芽しています。</p> <p>今回は、20個の見本を持参。内、14個が市民の手に渡りました。手にした方には中には「地域の空き地に雑草が生えて困っている。住民で花などを植えようと考えている。種を育てるのにお金がかからずできることは、うれしい。」</p> <p>「学校のイベント等で配布するものとして、手軽に沢山できて出来てよい。」</p> <p>「ごみが出なくてよい。」</p> <p>との感想でした。</p> |
|----------|--|

記録添付

